

【資料 8-1】

協議会版ロジックモデルの改訂および今後のスケジュール

ロジックモデルとは、「何のために、何をする」、「何をすることで、何をもたらすか」などの原因と結果の因果関係を示す論理構造図であり、がん対策のように行政を含めた多数の職種が関わり複数の施策を行う領域では、各々の施策が最終的に何を改善するためのものなのかを因果関係を軸に整理できるため有効な方法。

1. ロジックモデル作成状況

1-1.現在の北海道がん診療連携協議会暫定版ロジックモデルβ0.1.0について

- ・2025年7月～12月にかけて、沖縄県版ロジックモデルを雛型として、北海道版を作成。
- ・2026年2月12日の第20回北海道がん診療連携協議会にて暫定版として承認を得た。

1-2.ロジックモデルの改訂にむけて

- ・相談情報部会・緩和ケアの所掌範囲は、当協議会の各部会で検討予定。
- ・がん医療提供体制については、事務局内で北海道暫定版ロジックモデル内の北海道での指標値欠損および北海道として不適当な項目の代替案について検討し今後医療部会に提案予定。

事例1：「施設」におけるセカンドオピニオンの数

→代替案：国ロジックモデル#211102がん治療前にセカンドオピニオンに関する話を受けたがん患者の割合（令和5年度患者体験調査）

事例2：専門医が、常勤で配置されている「施設」のそれぞれの割合

→代替案：現況報告書の専門スタッフ数データ（令和6年9月1日時点）

1-3.使用した資料

- ・第4期がん対策推進基本計画、ロジックモデル
https://ganjoho.jp/med_pro/cancer_control/control_plan/logic_model.html
- ・現況報告書（令和6年9月時点データ）
<https://hospdb.ganjoho.jp/kyoten/kyotensearch>

2. 今後のスケジュール

完成版に向けて、主にニーズ評価、セオリー評価の中間評価を実施予定

<開催予定>

研究会名 「令和8年度第1回ロジックモデル研修会」

日 時 2027年2月11日（木）（詳細未定）

開催方法 対面

場 所 北海道がんセンター大講堂

対 象 者 協議会委員、部会委員、行政等

内 容 座学、グループワーク（詳細未定）

目 的 北海道のがん対策に関わる関係者が、ロジックモデルの基本的な考え方や見方を学び、施策と成果のつながりについて共通の視点を持つとともに、今後のがん対策の検討・評価にロジックモデルを活用できるようになることを目的とする。